

## 歴史街道「でんでんタウン」を歩いてみよう

電気の街でんでんタウンは細長い堺筋に面しています  
どうして細長いのでしょうか  
大阪城歴史博物館の館長さんに聞いてみました

江戸時代お伊勢参りは一生一代の大きな旅だったそうですね  
お伊勢参りをしたらついでに紀州にも足を延ばし、  
そこから当時日本一と言われた娯楽の町大坂（大阪）へやって来た  
のだそうです  
ですから大阪には南から入ってきたのですね  
それで大阪の南の入り口には宿屋街が細長く連なっていました  
これが堺筋の始まりなんだそうです

なるほど、堺筋のお店は間口の狭いお店がずらり並んでいますね  
宿場町のなごりでしょうか

水戸黄門の助さん格さんが実際に宿泊した記録もあるとか、  
また、今の日本橋1丁目あたりに一番大きな旅籠があったそうです  
ここでは宿泊客に一番の娯楽だといわれていた芝居小屋の切符の  
幹旋、手荷物お土産の地方配送、それに四国の金比羅山への三石船  
を毎日運航していたそうです

ということは、格安チケット、宅配便、フェリー観光、、、と現在の  
人気観光業がすでに行われていたんですねー

寿司食いねえ、の清水の次郎長も日本橋でチケットを買って三石船に  
乗ったのかも

そんなことを思い浮かべながら日本橋を北から歩いてみましょう  
なんば～なんさん通りを得て堺筋に向かいます



途中通称「オタロード」が見えました  
新聞記者さんがオタクが多く利用する  
お店が並ぶこの通りをオタロードと  
名付けたのがはじまりです。  
この通りは次回詳しくご紹介しますね



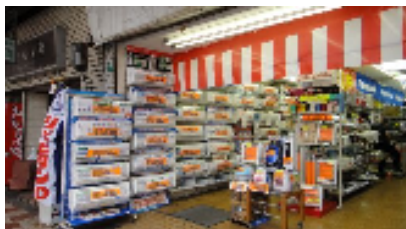
堺筋に出ました  
ここから南へ630mのアーケードが続きます  
電飾看板の装備された片持ち柱式のアーケードは他に類を見ません  
実は、この電飾は建設当時アメリカのラスベガスにも見学に行って研究した  
んですよ



左手に大きく見えてくる建物は現在の高島屋別館です  
戦前は松坂屋でした 空襲でも焼けずにそびえたち、市民を勇気づけたと  
聞いています 屋上には高射砲が据えられていたそうです



一番最初に現れる電気屋さんが丸丹無線さん 倉業50年以上です  
社長さんがでんでんタウンの宣伝販促副委員長で、でんでんクイズの  
ご担当だそうです 先日のラジオでんでんで聞きました



キャラクターのシールが貼ってある萌え家電もありましたよ

さらに南下すると高島屋別館の奥に小学校が見えます  
大阪市立日本橋小学校です  
都会の過疎化で今は全校生徒数が40名をわっています  
統合の話もでていますが、でんでんタウンでは毎年3月この小学校の講堂を  
お借りして、ロボカップジュニア大阪地区大会を開催しています



小学校の東隣に日本橋公園があります  
この辺りは昔、お米の貯蔵庫があったところでお蔵跡(おくらと)と呼んでいます  
その後ちょうどこの公園の位置に図書館があって、幼年の司馬遼太郎  
が本を読みあさっていたという話があります  
行ってみましたがもう痕跡を探すことはできませんでした

家電全盛時代にはここに東芝の営業所とサービスセンターのビルがありました  
この前を通って松屋町から堺筋につながる東西道路に出ます



時代ですねえ、、 何と新聞のニュースにもなったメイド駐車場があります  
ここから堺筋を見ると平成22年5月に撤去された名物歩道橋跡の交差点  
日本橋3丁目南が見えてきます



実物大ガンダムの看板が見えてきました  
つづく、、